施策番号	17-01-①	
施策名	広域主要幹線道路等(の整備促進

施策の概要

滋賀県が作成する「道路アクションプログラム」に位置づけられた路線や平野南笠線整備の早期着手を要望します。

成果指標(単位)	安全で快適な道路づくりができていると感じている市民の割合(%)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	25.6	27.6	29.6
実績値	23.6	24.9	24.7	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、安全で快適な道路の整備ができていると満足している市民の割合は、前年度より0.2ポイントの微減で推移しており、実績値の結果を分析すると、山手幹線、栗東志那中線等の路線が事業化されているものの進捗が遅いことが、要因の一つではないかと考える。

施策の達成度評価

これまで山手幹線の整備については、明確な整備時期が定まっていなかったが、過去の要望活動の成果が実り、平成36年に開催される国民体育大会までに整備を行うと滋賀県が表明された。また、平成28年度予算から新たに創設された補助制度に山手幹線が採択されたことにより、今後、より継続的・集中的な予算措置による計画的な事業展開が見込めることとなった。

また、平野南笠線については、まちづくりの骨格路線と位置づけている都市計画決定路線であり、大津湖南の幹線道路として重要な路線であることから、滋賀県に早期事業化を強く働きかけ、要望している。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

各路線の整備促進につながるよう引き続き国・県要望以外でも意見交換会の中などで、機会あるごとに強く働 きかけをしていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国•県道路整備対策事業	都市計画課	0	国・県の道路整備に関しては、「国・県要望」として、要望活動を実施している。春、秋の要望活動に加えて、滋賀県南部土木事務所との意見交換会等を実施。また、広域幹線道路整備については、大津湖南地域幹線道路整備促進協議会等での要望活動も実施する等、機会あるごとに行ってきた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
県道路事業費負担金事務	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった
- ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

施策番号	17-01-2
施策名	幹線道路の整備

施策の概要

市内の円滑移動に資する、都市計画道路(大江霊仙寺線)の整備に努めます。

成果指標(単位)	①大江霊仙寺線川ノ下工区整備進捗率(%) ②大江霊仙寺線南笠工区整備進捗率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	20.3	29.5
実績値	84	100	0.2	

成果指標実績に対するコメント

平成27年度実施予定内容について、計画どおり実施できた。

施策の達成度評価

平成27年度は、大江霊仙寺線南笠工区のうち、南草津プリムタウン土地区画整理事業区域内(その1区間)の整備にかかる事業認可申請等を行った。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

南草津プリムタウン土地区画整理事業の進捗と調整を図りながら、整備を進めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
大江霊仙寺線整備事業	道路課	0	計画どおり実施することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号
施策名

施策の概要

市民生活に身近な、地域間および地域内の市道等の整備に努めます。

成果指標(単位)	市道整備延長(m)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	360	360	360
実績値	370	440	380	

成果指標実績に対するコメント

計画どおり実施できた。

施策の達成度評価

市民に身近な道路整備を行い、安全性や利便性の向上を図った。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

必要性等を勘案しながら、順次、道路整備を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路新設改良事業	道路課	0	計画どおり実施することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
道路関係団体負担金事務	道路課
土木設計積算システム運用料支出事務	道路課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	17-01-4
施策名	歩道・自転車道等の整備

施策の概要

歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動できるよう、歩道や自転車道等の整備に努めます。

成果指標(単位)	重点整備地区内における歩道の整備延長の割合(%)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	26.1	34.8	41.7
実績値	20.2	28.2	37.0	

成果指標実績に対するコメント

計画どおり実施できた。

施策の達成度評価

歩道の整備を行い、歩行者や自転車利用者の安全性の向上を図った。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

必要性等を勘案しながら、順次、歩道等の整備を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩道整備事業	道路課	0	計画どおり実施することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	17-02-①
施策名	道路空間の整備

施策の概要

「第9次草津市交通安全計画」を踏まえて、交通安全施設等の整備、歩車分離整備などを進めます。

成果指標(単位)	歩道整備延長と路側帯のカラー舗装整備実施延長の割合(%)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	32.7	33.8	34.9
実績値	31.5	32.4	32.8	

成果指標実績に対するコメント

平成27年度実施予定内容について、計画どおり実施できた。

施策の達成度評価

通学路の路側帯のカラー舗装化を行い、通学児童等の安全対策を図った。 また、道路の防護柵や路面標示等の交通安全施設が必要な箇所について、それらの整備を行った。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

教育委員会等の関係機関と連携しながら、順次、通学路の路側帯のカラー舗装化を進める。 また、道路の防護柵や路面標示等の交通安全施設が必要な箇所については、それらの整備を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
交通安全施設整備事業	道路課	0	計画どおり実施することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	17-02-2
施策名	道路空間の維持管理

施策の概要

道路パトロール等により市道や駅前広場などの道路空間の適切な維持管理に努めます。

成果指標(単位)	市内交通事故件数(件)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	698	648	598
実績値	748	741	665	

成果指標実績に対するコメント

前年度の市内における交通事故発生件数と比べ大幅に減少した。

施策の達成度評価

交通安全啓発活動として、関係機関および関係団体と連携し、交通事故防止についての各種啓発活動を実施 した。

また、良好な道路環境の維持のため道路パトロールや道路の維持補修を実施した。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

今後も市内の事故発生件数の削減に向けた各種啓発活動を実施する。 また、良好な道路環境の維持のため道路パトロールや道路の維持補修を実施する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

交通事故防止に向けた警察による取締りや、関係団体等と連携した交通安全啓発活動の実施、また、自転車の安全利用に係る街頭指導、啓発、各種教室等の開催等から、市民の交通安全に対する意識も高まってきたことが、交通事故件数の減少にも影響していると考えられる。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
交通安全啓発事業	交通政策課	0	交通安全教室の実施回数が昨年度と同 回数であった。
道路維持補修事業	道路課	0	適時補修を行い、適切な道路環境を維持することができた。
道路パトロール事業	道路課	0	道路パトロールを行い、穴ぼこなどの不良 箇所の早期発見に努め、道路の適切な維 持管理に効果があった。

■施策に含まれるその他の事業一覧

一地水に口が下るとの店の子木 発	
事務事業	担当課
草津栗東地区交通対策協議会事業	交通政策課
草津栗東交通安全協会補助金事務	交通政策課
交通安全事務	交通政策課
自転車安全安心利用推進事業	交通政策課
未登記路線測量登記事務	土木管理課
道路台帳整備事業	土木管理課
官民境界確定事務	土木管理課
道路等管理事務	土木管理課·道路課
交通安全施設維持管理事業	道路課
草津駅前広場等維持管理事業	道路課
南草津駅前広場等維持管理事業	道路課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	17-03-①
施策名	公共交通の充実

施策の概要

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現をめざし、交通政策とまちづくりが一体となる交通ネットワークの推進を図ります。

成果指標(単位)	まめバスの年間利用者数(人)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	91,000	91,500	92,000
実績値	90,262	103,134	110,384	

成果指標実績に対するコメント

本格運行移行後、路線ダイヤの定着化が進み、利用者もバスが運行している時間帯に合わせた行動になりつつあることが、利用者数の増加に繋がったものと考える。

施策の達成度評価

まめバス路線沿線にある店舗と業務提携をし、まめバス利用者への買い物サービスといった利用促進を図った。また、地域からの要望により、まめバスの一部路線改編を行った。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

「コンパクト+ネットワーク」の考え方に基づくまちづくりを行うため、市民(地域)・事業・行政の三者の協働、連携強化による民間路線バスとコミュニティバス(まめバス)が一体となった交通ネットワークの再編を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

高齢者の増加に伴う運転免許証の返納等により、公共交通機関を利用するきっかけが増えた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
公共交通対策事業 交通政策課		0	まめバスの年間利用者数が、前年度よりも大幅に増加したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市交通調査事業	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策都	番号 17-03-②
施策	(表名 公共交通機関の利便性)

施策の概要

JR駅での乗り換えの円滑化や路線バス・コミュニティバスの交通環境の改善に努めます。

成果指標(単位)	JR両駅周辺における年間撤去自転車台数(台)			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	1,200	1,100	1,000
実績値	1,291	989	986	

成果指標実績に対するコメント

道路上に放置自転車禁止ステッカーを貼り付ける等の対策を講じたことで、放置自転車対策への意識が向上 し、目標値を下まわったものと考える。

施策の達成度評価

放置自転車の撤去台数が目標値よりも少なかったことで、駅周辺での快適な通行を確保することができた。また、南草津駅前広場の混雑解消等を図るため、連節バス2台を導入することができた。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

公共交通機関と連携し、自動車に過度に依存したライフスタイルからの転換を図るため、徒歩、公共交通、自転車への利用転換を促進する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

市内大学において、放置自転車をなくすための指導や啓発に取り組まれた。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由			
放置自転車対策事業 交通政策課		0	放置自転車の撤去台数が昨年度と比較し、減少した。			
草津駅西口·西口第2自転車 駐車場運営事業	交通政策課	0	放置自転車が減少し、多くの方に駐車場 施設を利用いただいたため。			
草津駅東自転車駐車場運営事業	交通政策課	0	放置自転車が減少し、多くの方に駐車場 施設を利用いただいたため。			
南草津駅駐輪·駐車場運営事業	交通政策課	0	放置自転車が減少し、多くの方に駐車場 施設を利用いただいたため。			

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津駅前地下駐車場運営事業	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった
- ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

施策番号	17-04-①
施策名	まちのバリアフリー化の促

施策の概要

段差解消や手すり設置など公共空間等のバリアフリー化を促進するとともに、市内移動円滑化のため、低床車両の導入、わかりやすいサインやインフォメーションを充実させます。

成果指標(単位)	構想に基づいた施設新規事業/全ての施設新設事業			
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度			
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	100	100	100	

成果指標実績に対するコメント

新設された施設については、バリアフリー基本構想に基づいた整備が行われた。

施策の達成度評価

各施設関係者等においてバリアフリー化に向けた取り組みが行われている。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方

重点整備地区におけるバリアフリー化の進捗状況の把握とバリアフリー化の推進を図る。また、近年の駅周辺の環境の変化に伴い、重点整備地区の見直し等の検討を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
バリアフリー基本構想推進事業	交通政策課		市民意識調査において、「バリアのないまちづくり」の項目に関して、普通以上と感じた方の割合が、昨年度と比較して同程度だったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった